



「ネット危険度調査」へのご協力ありがとうございました。

最近、インターネットを通してのゲーム、チャット、メールなどでのトラブルが子どもたちの中で多く見られるようになってきました。高学年だけでなく、仙南小学校全体に広がっています。

そこで、子どもたちが今の自分の状況を振り返り、自分のインターネット使用に対する見直しができるようなカードを準備し、これからの使い方について個々に記入してもらいました。保護者の皆さんにも、お子さんの現状を知っていただき、家庭での遊び方についてお子さんと話し合い、記入していただきました。

今回、この調査をするまでは、本校の実態についてははっきりとわかっていませんでしたが、その現状について皆さんで共有し、今後の子ども達の健全な生活に反映させていきたいものです。また、今回特に問題の無い子どもでも、今後使用する可能性がありますので、その時を見据えて一緒に考えていくことは大切です。

自分のネット危険度を知ろう。

年 組 番 名 前 ()

★次の質問を讀んで、当てはまるものに○をつけてください。
当てはまらない場合は、別紙の人をいっしょに作ってあげましょう。

インターネットにつなぐことができるゲームを持っている。	
スマートフォン、携帯電話を持っている。	
タブレットを持っている。	
家でゲーム機をインターネットにつなぐことができる。	
毎日必ずゲームをする。	
家の人とゲームやスマホの使い方について約束はしていない。	
家に帰ると勉強よりもすぐにゲームをする。	
1時間以上続けてゲームをする。	
「いい加減にやめなさい。」と家の人によく注意される。	
夜9時以降もゲームをする。	
次の日学校があるのに、夜中までゲームをしていたことがある。	
休みの日は、朝からゲームをする。	
天気の良い日でも、外に出るより家でゲームをしたい。	
友だちとメールやラインを使ってよく連絡し合う。	
ゲームのフレンドに入っている。	
友だちをフレンドに入れなかったり、外したりしたことがある。	
フレンドから仲間はずれにされたことがある。	
チャットのやりとりで、友だちの悪口を書いたり、見たりしたことがある。	
課金をしたことがある。	
ネットを使う中で、何かしらのトラブルにあったことがある。	

○の数を数えて、記入しよう。

ウケまわそう。

○あなたのネット危険度

0点 0-5点	最も安全です。しかし、安心してはいけません。ひとりでものによっては、危険にも注意です。
10点 6-10点	やや安全です。しかし、内容をよく確認することが必要です。
15点 11-15点	やや危険です。友達に誘われて誘われて、しつこくした内容のやりとりを避けましょう。
20点 16-20点	アウトです。「ゲーム依存」「ネット依存」のようになってはいけません。大人気の友だちと距離をとり、危険を回避して、対策しましょう。

※各項目の合計を数えて危険度を算出しよう。

○これから何に気を付けてネットを使っていくか考えてみましょう。

※お家の力で、危険回避の仕方を、親子で話し合ってください。

○終わったら、学校に提出しましょう。

子どもたちのネット利用の状況

(人) (%)

質問項目	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全校	割合
アンケート回収人数	45	38	42	45	50	49	269	
1 インターネットにつなぐことができるゲームを持っている。	23	25	26	35	44	43	196	72.9
2 スマートフォン、携帯電話を持っている。	5	4	4	10	10	18	51	19.0
3 タブレットを持っている。	18	13	15	19	19	19	103	38.3
4 家でゲーム機をインターネットにつなぐことができる。	14	16	23	27	38	39	157	58.4
5 毎日必ずゲームをする。	14	18	17	10	14	25	98	36.4
6 家の人とゲームやスマホの使い方について約束はしていない。	6	4	6	5	5	16	42	15.6
7 家に帰ると勉強よりもすぐにゲームをする。	8	12	15	7	7	12	61	22.7
8 1時間以上続けてゲームをする。	16	17	17	20	27	30	127	47.2
9 「いい加減にやめなさい。」と家の人によく注意される。	23	23	19	19	15	18	117	43.5
10 夜9時以降もゲームをする。	3	5	5	12	9	26	60	22.3
11 次の日学校があるのに、夜中までゲームをしていたことがある。	1	1	2	4	2	8	18	6.7
12 休みの日は、朝からゲームをする。	7	10	12	6	8	12	55	20.5
13 天気の良い日でも、外に出るより家でゲームをしたい。	4	10	8	9	9	7	48	17.8
14 友だちとメールやラインを使ってよく連絡し合う。	0	0	0	1	8	17	26	9.7
15 ゲームのフレンドに入っている。	2	4	5	15	25	23	74	27.5
16 友だちをフレンドに入れなかったり、外したりしたことがある。	0	1	0	2	5	3	11	4.1
17 フレンドから仲間はずれにされたことがある。	0	2	2	1	3	0	8	3.0
18 チャットのやりとりで、友だちの悪口を書いたり、見たりしたことがある。	0	1	0	1	2	0	4	1.5
19 課金をしたことがある。	0	2	2	8	14	11	37	13.8
20 ネットを使う中で、何かしらのトラブルにあったことがある。	0	1	0	3	4	0	8	3.0
合計	144	169	178	215	268	327	1301	4.8

※20%以上に網掛け

1人当たりの○の数↑

子どもたちのネット危険度

ネット利用危険度	1年	2年	3年	4年	5年	6年	(人) 全校	(%) 割合
アンケート回収人数	45	38	42	45	50	49	269	
安全 (0~5個)	38	26	26	25	29	17	161	59.9
まだ安全 (6~10個)	7	11	15	19	19	25	96	35.7
危険 (11~15個)	0	0	1	1	2	7	11	4.1
アウト (16~20個)	0	1	0	0	0	0	1	0.4
合計	45	38	42	45	50	49	269	

各家庭のマイルールを紹介します!

- ・ご飯を食べるときはタブレットを見ない。
- ・オンラインゲームは高校生になってから。
- ・宿題などやらなければならないことをやらないとゲームできない。
- ・小学生のうちにはインターネットにつなぐゲームはしない。
- ・休日、天気がよいときは外で体を動かす遊びをする。
- ・夜9時以降はゲームをしたり、動画を見たりしない。
- ・親の見ているところのみゲームや動画を見る。
- ・週1回、家庭独自のノーメディアデーを作る。
- ・フィルタリングをかけて、有害情報に触れないようにする。
- ・知らない人とのSNSのやりとりをしない。
- ・ネットゲームは週末のみ。
- ・ネットで怪しい文章が出たら、親にすぐ知らせる。
- ・ボイスチャットは言葉遣いに気を付ける。(相手の顔が見えないので)
- ・フレンド申請は承認をもらってから。
- ・夜はスマホやゲームを親に預ける。
- ・個人情報を書き込まない。
- ・課金しない。
- ・親同士で情報交換する。
- ・SNSに書き込みしない。
- ・マルチプレイで外国の人とフレンドにならない。 etc.



【アンケート結果から】

- ・「子どもたちのネット利用の状況」を見ると、1からネットにつながるゲーム機の所持率が全校の7割以上という現状があるようです。そして、4から実際にネットにつなぐことができる児童が全校の約6割のようです。特に4年生あたりからネットと接続できる環境にある児童が増える傾向にあります。しっかりしたルール作りをしなければ自由にネットに接続して、いつ危険に巻き込まれても不思議でない状況にあると思います。親子でしっかりしたルール作りが必要です。
- ・5, 7~8, 12から、ゲーム依存の児童が増加している傾向が見られます。学年に関係なく、低学年でもゲームにはまってしまっている現状が見えます。このままでは、学年が進むにつれてゲーム依存度が増加することが懸念されます。数値的な目安だったり、〇時以降はゲームをしないなどの制約を設けたいものです。特に、6年生は夜9時以降もゲームをしている子が学年全体の半分以上います。このような生活は中学校での学力の定着に大きく影響します。
- ・3からタブレットを持っている児童も相当数います。今回は調査対象ではありませんでしたが、おそらくYouTubeなどの動画を入れるとメディア依存が増加することが考えられます。
- ・最近、本校だけでなく心配されているのが、15~17のネットゲームに起因するトラブルの増加です。本校でも友だちとフレンドと言うグループを作ってゲームを遊んでいる児童が増えています。ただ、友だちをそのフレンドから外したり、仲間はずれにしたりするトラブルも見られ、心配しています。
- ・18~20は、かなり深刻です。チャットやボイスチャットというものがあるようです。最近、社会問題化している未成年の誘拐事件などは、このチャットなどが絡んだものがありました。見知らぬ大人(大人であることを隠している場合も)とつながっているというケースもあるようです。課金をしたことのある児童も相当数おられます。どうか、個々については今回のアンケートで把握されていると思いますが、丁寧なご指導をお願いします。
- ・ネット危険度で「危険・アウト」と判定された児童が12名おりました。かなり依存度が進んでおり、早急に改善が必要です。また、「まだ安全」という児童は96名ですが、「危険」の予備軍ですから十分な注意が必要です。また、「安全・まだ安全」と判定された児童の中に、〇の数は少ないのですが心配な項目に〇をしていた子がいました。該当項目の内容のチェックも大切です。
- ・お家の人と相談して決めたマイルールですが、時間の制限を設けたり、フィルタリングをかけたり一歩踏み込んだルール作りをされているご家庭もありました。また、家庭独自にノーメディアデーを作っている家庭もあり、大いに参考にしたいものです。

最後になりますが、子どもがお小遣いで買ったのだから、親が遠慮して子どもの遊んでいる様子を把握できないというような密室な状況は非常に危険です。時々、一緒に親も遊んで会話しながら、子どもの遊び方をチェックできるようなオープンな環境作りも大切です。最初に買い与えるときのルール作りをしっかりとりたいものです。ゲーム機を持っているのに全くゲームで遊ばないという決まりは現実的ではありません。いかに、自分をコントロールして上手にゲームとつきあうか、その術を子ども達には身につけてほしいものです。